

汎用検査用免疫グロブリンEキット

アレルウォッチ 涙液IgE



特徴(特性)

※電子添文をご参照ください。

- 1 涙液中総IgEを測定するキットで、アレルギー性結膜炎の診断の補助に使用されます。
- 2 サンドイッチ法に基づくイムノクロマト法により測定します。
- 3 涙液を採取し、展開後10分で判定が可能です。

【キットの構成】10テスト用(1箱中)

内容	包装
ヒト総IgE検出用ストリップ	10本
【付属品】	
展開液ボトル	1本
展開用チューブ	10本
チューブスタンド	1個

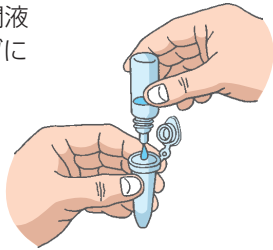
製品概要

測定原理	イムノクロマト法	貯蔵方法	2～25℃
使用目的	涙液中の総IgEの測定	有効期間	12ヶ月
判定時間	10分(展開液浸透後)	包装単位	10テスト
実施料	D004 穿刺液・採取液検査 IgE定性(涙液)	100点(2024年6月現在) ^{*1}	
判断料	D026 検体検査判断料 尿・糞便等検査判断料	34点(2024年6月現在)	

※1 アレルギー性結膜炎の診断の補助を目的として判定した場合に月1回に限り算定できる。

操作方法

1 展開液ボトルより展開液
2滴を展開用チューブに
滴下します。

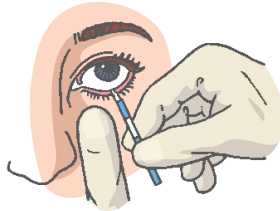


3 ヒト総IgE検出用ストリップのコントロールライン
部分(裏面が水色着色帯)が濡れるまで涙液を採取
します。^{*2}



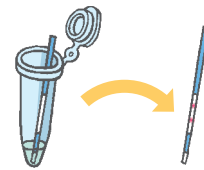
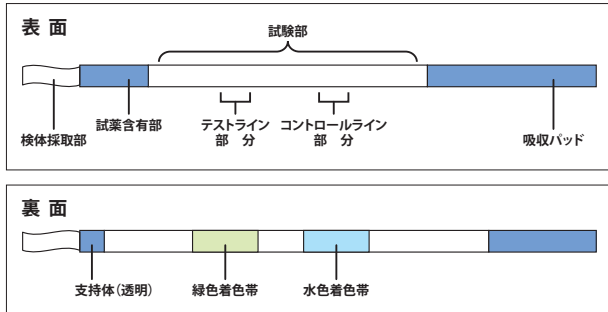
コントロールライン部分まで
濡れたことを確認した後、
ヒト総IgE検出用ストリップ
の検体採取部分を下むきにし
て**1**の展開用チューブに移し
ます。

2 アルミ袋を開封し、ヒト総IgE
検出用ストリップを取り出し、
検体採取部を下側結膜円蓋に
当てます。



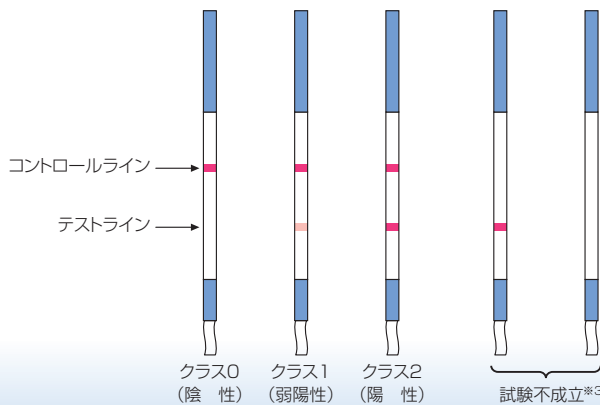
4 検体採取部を**10分間**浸した後、ヒト総IgE検出用
ストリップを取り出し、結果を判定します。

ヒト総IgE検出用ストリップの概略



※2 検体によっては、涙液がコントロールライン部分に
到達する前に、テストラインが現れる場合があります。
このような場合でも、コントロールライン部分が
濡れるまで涙液を採取して、展開液に10分間浸し
た後に判定を行ってください。

判定



表示クラス (反応の程度)	テストラインの発色強度 (コントロールラインとの比較)	判定
2	コントロールラインと 同等以上のライン	陽性
1	コントロールラインより薄いライン	弱陽性
0	ライン無し	陰性

※3 コントロールラインが現れない場合は試験不成立とします。
試験不成立の場合は、再度試験を実施してください。

製造販売元

ミナリスメディカル株式会社
〒104-6004 東京都中央区晴海 1-8-10

販売元



わかもと製薬株式会社
東京都中央区日本橋本町二丁目2番2号

<文献請求先及び問い合わせ先>
わかもと製薬株式会社 メディカルインフォメーション
TEL 03-3279-0379/FAX 03-3279-1272

2024.6.®.Q
2024年6月改訂
ALE-02